学校案内

令和８年度

長野県農業大学校農学部
野菜花き実科・研究科



〒 399-6461　　長野県塩尻市大字宗賀字床尾 1066-1
長野県農業大学校農学部野菜花き実科・研究科
（長野県野菜花き試験場内）
TEL：0263-52-1148　　FAX：0263-54-6340
E-mail：nogyodai-yasaikaki@pref.nagano.lg.jp
ホームページ：
https://www.pref.nagano.lg.jp/yasaikaki/jikkakenkyuukaintro.html

どんなことが学べるか

長野県で栽培している野菜・花き・畑作物農業全般について幅広く学び、その中から自分が特に学習したい分野を選択し、専攻することができます。

講師陣が所属する野菜花き試験場では、野菜・花き・畑作物に関する試験研究に取り組んでおり、次のような分野の最先端の技術を学ぶことができます。



広い試験ほ場を有する野菜花き試験場

野菜栽培・育種技術	レタス・アスパラガス・セルリー・ネギ・加工トマトなどの露地野菜 夏秋イチゴ・カラーピーマン・トマト・キュウリなどの施設野菜
花き栽培技術	トルコギキョウ・カーネーション・洋マム・アルストロメリア・シクラメン・ダリアなど
畑作物栽培・育種技術	大豆・そば
環境にやさしい施肥技術 総合的病害虫雑草管理（ＩＰＭ）による環境にやさしい農業技術	

〇試験場の研究職員に加え農業技術課専門技術員など多彩な教職員らが指導します。

〇トラクター運転などの実践的な操作・整備テクニックを学ぶ事ができます。

〇現地の先進的な生産者を訪れ、学習する機会を設けています。

講義・実習等の内容

学科	内　容	履　修　科　目
実科	実習と講義を通じて、基礎的な知識と技術を習得します。各種資格を取得します。	農業汎論・農業経営学・農業気象学・植物生理学・作物学・育種学・花き園芸学・土壌肥料学・野菜園芸学・農業機械学・園芸病害虫学・青果物流通論・農業施設論・情報処理論・保健体育・専攻研究・農場・現地実習　など
研究科	研究員指導の下、専攻研究に取り組みます。高度で先進的な知識と技術を習得します。	

講義・実習時間　8:40～16:30　　１時限 90 分、１日４時限授業

専攻研究・取組課題の例

実科	きゅうり養液栽培における低圧ミストの効果検証とセンサデータ活用による給液制御方法の検討 マルチの種類・遮光がレタスに及ぼす影響 摘芯および摘葉処理がダイズの青立ちに及ぼす影響
研究科	パセリにおける天敵カブリダニの防除効果 夏秋どりいちごにおける低圧ミストや栽培槽の違いが生育・収量に及ぼす影響 ブロッコリーの生産性と省力化

入学資格・修学年限

学　　科	入学資格	修学年限
野菜花き実科	高校卒業（見込み）又は同等以上の学力	１年
野菜花き研究科	実科卒業、短大卒業又は同等以上の学力	１年

授業料など必要な経費（年間）

令和８年４月現在

入学金	授業料	教科書代	視察研修費	保護者会費	その他 (保険料等)	資格試験等 (資格による)
5,650 円	42,000 円	約 50,000 円	約 80,000 円	30,000 円	6,360 円	192,000 円

〇寮はありません。自宅通学のほか、一人暮らしをしながら通学する学生もいます。

資格取得

大型特殊免許（農耕車）、大型特殊けん引免許（農耕車）、フォークリフト
危険物取扱者、毒劇物取扱者、クレーン・玉掛技能などの資格取得支援をします。

卒業後の進路

自営就農や農業法人、農業関連企業等へ就職しています。
卒業後も、講師と卒業生の絆を強く持ち、技術相談や営農アドバイス等を行います。

授業の様子



鍬の使い方実習



苺の葉かき作業



小型農業機械操作講習



スイカ接ぎ木実習



現地実習



フラワーデザイン授業

年間行事

4月	入学式、対面式、オリエンテーション
5月	職員交流会、専攻研究開始
6月	農業法人等合同説明会参加、全学体育大会
7月	現地農家での実習、特別公開講座、大型特殊（農耕車）免許試験
8月	フラワーデザイン、夏季休暇、前期試験
9月	県内研修
10月	現地農家での実習、試験場一般公開
11月	大型特殊けん引（農耕車）免許試験、県外研修
12月	リースづくり、冬季休暇
1月	野菜・花き研修会参加、後期試験
2月	専攻研究発表会、若人の集い参加
3月	フラワーデザイン、卒業式